

浜松北高同窓会総会について

同窓会総会の幹事

毎年7月の末、卒業生全体の同窓会総会が開催されます。そもそもは昭和47年、旧制47回生が、47歳で始めたそうです。現在では、1500名の卒業生が参加する大イベントです。幹事は卒業生が回り持ちしています。2009年はわれわれ33回生が幹事となります。各学年はやがて来る幹事年に向け準備をしなければなりません。

幹事学年の役割

総会、講演会、懇親会の運営、チケット販売、パンフレット作成、受付等々、少なくとも100人以上の協力が必要となります。

同窓会チケット

チケットは幹事学年から各学年に購入をお願いしており、幹事学年が近づくにつれて依頼される枚数が増えていきます。

各学年のしなければならないこと

学年の代表者（数名で構成するのがいいと思います）が同窓会の意味を理解し、準備することが大切です。

次に総会幹事に向けての人集めです。総会のチケットを買ってもらうことで、同窓会総会の存在を同級生に知ってもらい、また先輩に協力することで、自分たちの幹事年のときの協力を期待します。総会に参加する人数を少しずつ増やし、総会を経験して幹事年の準備をするのが一般的です。

各支部の総会について

各支部の総会が毎年開催されています。

その中で関東支部だけは総会幹事の学年が主催しています。よって関東支部総会の幹事が必要です。

その他の支部（関西、静岡等）は参加依頼が来る程度です。